

令和8年度 学校評価報告書 (目標設定・実施結果)

視点	4年間の目標 (令和6年度策定)	1年間の目標	取組の内容		校内評価		学校関係者評価 (月 日実施)	総合評価 (月 日実施)	
			具体的な方策	評価の観点	達成状況	課題・改善方策等		成果と課題	改善方策等
1 教育課程 学習指導	<p>①-1 本校のミッション実現に向けて、新しい教育課程を実践するとともに、継続的な見直しを図る。</p> <p>①-2 ICTをはじめ様々な教育資源を活用し、社会の変化に対応できる、情報活用能力や問題解決能力を伸ばす学習支援を行う。</p> <p>目指す生徒像や生徒のニーズを的確に捉え、組織的で発展的な授業改善のさらなる推進を図る。</p> <p>②行事運営を主体的な学びの場に位置付け実施する。</p>	<p>①-1 現行教育課程を改訂し、よりよい運用を図るとともに、新校の教育課程編成方針について検討を行う。</p> <p>①-2 「授業力向上推進重点校」として、令和8年度の研究主題を策定し、全職員による授業改善の取組を充実させる。</p> <p>②生徒一人ひとりが主体的に活動し、より多くの生徒が企画段階から学校行事に関われるよう支援する。</p>	<p>①-1 現行教育課程の課題を共有し、選択指導や学習評価の方法について具体案を作成する。また、令和13年度開校予定の新校の教育課程編成に向け、情報収集を行い、全職員で知識を深める。</p> <p>①-2 「エンゲージメント」の視点やICTの活用をふまえた研究主題を策定し、研修会、研究授業等全職員による授業改善の取組を進める。</p> <p>②学校行事において各組織・係の担当職員および生徒と連携を密に取り、生徒の意見・発想を生かした企画、運営が行われるよう支援する。</p>	<p>①-1 目指す生徒像や生徒のニーズをふまえたよりよい教育課程の運用を行うことができたか。また、新校の方針案や新学習指導要領に基づいた教育課程編成に必要な知識を深め、見直しをもって検討できたか。</p> <p>①-2 授業改善の取組をより効果的に実施できたか。また効果を読み取る評価方法を工夫し、実際の効果を見ることができたか。</p> <p>②行事後の生徒振り返りアンケートで、生徒が主体的に行事に参加できたと感じているか。</p>					
2 生徒指導・支援	<p>①個別支援の視点から支援体制を構築する。</p> <p>生徒の成長と変容につながる交通安全指導を推進する。</p> <p>②部活動の一層の推進と目標を明示し主体的に取組む指導を推進する。</p>	<p>①-1 かながわ子どもサポートドックの活用を定着させ、全教職員の共通理解のもと、組織的かつきめ細かな支援体制を確立する。</p> <p>①-2 地域の交通実態に即した指導を行い、青切符導入を踏まえた交通ルール遵守の意識を高め、事故防止を徹底する。</p> <p>②部活動の活性化を図るとともに、各部活動の目標達成に向けたプロセスを重視し、生徒が試行錯誤しながら主体的に活動できるよう支援する。</p>	<p>①-1 蓄積された支援データとSC・SSW等の専門知見を活用し、校内での情報共有を図るとともに、外部機関と密接に連携し「個に応じた最適な支援」を実践する。</p> <p>①-2 定期的な啓発講話や啓発を促す掲示物、生徒による危険予測学習を通して、青切符制度を周知し、交通ルール遵守の意識向上を図る。</p> <p>②-1 新入生が部活動に加入するプロセスを丁寧に行うことで、定着率の向上を図る。</p> <p>②-2 顧問と連絡を密にし、生徒の主体的な活動を支援する。また、その成果や取組の過程を把握する。</p>	<p>①-1 データに基づいた組織的支援により、支援が必要な生徒を早期に把握し、SC・SSWや外部機関と連携した支援につなげることができたか。[指標：職員アンケート肯定的評価 90%以上]</p> <p>①-2 生徒主体の取組を通して、青切符導入を踏まえた交通安全意識が定着しているか。[指標：交通事故件数 18件以下 / 生徒アンケート肯定的評価 92%以上]</p> <p>②-1 1年生へのアンケートを通して、部活動加入時の取組が、定着率の向上につながっているか。</p> <p>②-2 3年生へのアンケートを通して、顧問による支援が、部活動への主体的な関わり、満足度の向上につながっているか。</p>					

視 点	4年間の目標 (令和6年度策定)	1年間の目標	取組の内容		校内評価		学校関係者評価 (月 日実施)	総合評価 (月 日実施)	
			具体的な方策	評価の観点	達成状況	課題・改善方策等		成果と課題	改善方策等
3 進路指導・支援	①3年間を俯瞰した指導プランを策定し、確かな学力の向上と生徒一人ひとりが主体的に自分の可能性を広げ高める意識を向上させ、進路実現を図る。 ②進路指導の職員研修等を充実し、目標を明確にした学習・進路指導を推進する。	①Classi を日常的な学習・進路支援ツールとして活用し、生徒が活用目的を理解した上で、自発的に使用することで、学習意欲を高める。また、進路行事を通し、見通しを持って進路を考えられるようにする。 ②ICT教育ツールや進路情報発信サービスを教員が活用できるようにし、生徒一人ひとりに応じた具体性のある進路指導を行う。	①-1 Classroom からClassi に常時アクセスできる環境を整え、振り返りや課題、試験結果の記録に活用し、家庭での学習習慣を確立する。 ①-2 学年ごとに適切な時期に進路ガイダンスを実施する。また、進路室の Classroom から、進路室の更新情報やカレンダー形式の進路情報等を得られるようにする。 ②ICT教育ツールや進路情報発信サービスに関する教員向け研修を実施し、指導への活用を進める。生徒にも活用させることで、具体性のある進路指導につなげる。	①-1 生徒にとって進路実現のための学習の習慣づけとして効果的であったか。[生徒アンケート肯定的評価 80%以上] ①-2 進路ガイダンスや進路室の Classroom を通じた情報提供により、進路や将来について主体的に考えるようになったか。[生徒アンケート肯定的評価 80%以上] ②職員・生徒対象の研修、説明会により、ICT教育ツールや進路情報発信サービスを指導や学習に活用できるようになったか。[職員及び生徒アンケート肯定的評価 80%以上]					
4 地域等との協働	①学校運営協議会を活用し、全ての生徒が関わられる地域活動を整備する。総合的な探究の時間等の課題解決学習に地域資源を活用し、地域との協働を推進する。	①「地域社会に貢献する」という視点を重視し、地域連携実行委員会を中心として、より多くの生徒が主体的かつ継続的に地域と関われる取組を充実させる。あわせて、学校公式インスタグラムを活用し、本校の教育活動や地域連携の取組を積極的に発信することで、地域に関わった学校としての魅力を広くアピールする。	①地域連携実行委員会を中心に、地域行事や地域貢献活動に生徒が主体的に関わる機会を広げ、地域社会とのつながりを深める。また、地域資源を活用した取組を学年やグループと連携して計画的に進め、探究活動の質的向上を図る。さらに、学校公式インスタグラムやホームページにおいて、学校行事、生徒の活動、地域連携の取組等を継続的に発信し、地域住民や中学生・保護者に対して本校の魅力を効果的に伝える。	①地域連携実行委員会の活動を通じて、生徒が主体的に地域と関わる機会を創出できたか。また、地域資源を活用したプロジェクト型探究活動において、学年と連携しながら取組の質と生徒の関与度を高められたか。さらに、学校公式インスタグラムを活用して、本校の教育活動や地域連携の取組を地域に効果的に発信できたか。					
5 学校管理 学校運営	①職員・生徒主体の環境美化活動、防災計画を推進し、安全安心な学校づくりを進める。 ②業務改善の推進や学校内外の資源活用を通し、事故不祥事防止とともに、働き方改革を推進する。	①実技を含む防災訓練の実施と生徒が環境維持への自己有用感を得られる取組を企画し、職員・生徒ともに安全安心な学校づくりに参画する意識の向上を図る。 ②業務の効率化と負担軽減を進め、研修を工夫して事故・不祥事の未然防止を図る。	①「共助カード」の内容を再検討する。災害発生時を想定した実技訓練を実施し、生徒に対応を実践させる。環境美化委員会を中心に美化活動を継続しつつ、生徒の意見を取り入れた環境美化点検をすることで全校生徒の参画意識を高める。 ②-1 衛生委員会等で業務負担の意見を集約し、改善につなげる。 ②-2 ヒヤリ・ハット事例等を共有する機会を設けるなど、不祥事防止研修を工夫する。	①防災訓練や環境美化活動を通して、安全安心な学校づくりをする一員であることを認識できたか。[生徒アンケート肯定的評価 90%以上] ②-1 衛生委員会等において、定期的に業務負担に関する意見や要望が収集できているか。 ②-2 研修やヒヤリ・ハット事例の共有を通して、不祥事防止を自分事として捉え、相互の声掛けが増えるなど、意識向上が図られているか。					